

広報

ただみ

6
2021 月号

No. 613
令和3年6月10日



今月の表紙

表紙は、5月20日に行われた明和小学校の田植え体験で田植え機に乗車する児童の様子です。児童は、田んぼの反対側の目標に狙いを定めると真剣な表情でハンドルを握っていました。体験後には「真っ直ぐ植えるのは緊張した」と話してくれました。

(関連記事：P 4)

《特集》

教育寮「奥会津学習センター」… 2～3

《町の話》 …………… 4～5

《News & flash》 …………… 6



奥会津学習センターの 新体制と生徒の自主性を育成

「只見高校魅力化プロジェクト」3本の柱



只見高校魅力化 プロジェクトとは

只見高校に通う生徒の学びと暮らしを豊かにするため、只見高校・公営塾・教育寮のそれぞれが生徒の学びと暮らしをサポートする協働事業です。

詳しくは魅力化ホームページをご覧ください。

URL : <https://tadamikoukou-miryokuka.jimdofree.com/>

町外からの留学生受け入れを行う「只見町山村教育留学制度」は今年で20年目となります。この制度を利用し、高校の教育寮「奥会津学習センター」には現在25名の生徒が暮らしています。

今年度より寮の運営母体が只見町教育委員会となり、新たなスタッフも迎えて運営が始まりました。また、寮に暮らす生徒一人ひとりがより主体的に学び生活できるよう、新たな取り組みも始まりました。

そのひとつが、生徒たち自身で寮のルールづくりやイベントの企画運営を行う「寮生会」の立ち上げです。例えば、今年の新入生歓迎会は「寮生会」で主催した初のイベントで、寮生全体で交流を深める機会になったのはもちろん、高校生が一つのイベントを企画から運営まで行う、という学びの良い機会にもなりました。

また、ゴールデンウィークには新型コロナウ

イルスの影響により帰省ができないことから、寮生や寮スタッフの提案で、いわなの里での釣り体験や奥会津只見の森キャンプ場でのピザ作り体験を行いました。山や川の美しい景色と美味しい地元の食材を楽しみながら春の只見町を感じました。

他にも、学習センターのある上町地区、原地区の堀払いに高校生と塾スタッフで参加しました。このような行事を通じた地域との交流は、生徒の成長に大きく繋がっていきます。

寮の生活での成長だけではなく、地域行事などでの地域の人との繋がりを通して、只見町の一員としての自覚と自主性を育み、地元から通う生徒と切磋琢磨しながら成長し、山村留学生の第二のふるさととなるように、只見高校、寮のスタッフ、教育委員会一同で取り組んでいきますので、ご協力をお願いします。



寮長

向坂 雄一郎さん

20年という歴史を誇る寮の伝統と良さを伸ばし、生徒や保護者が安心できる寮運営を

只見高校で寮生活を経験した息子さんを持つ向坂さん。
「息子の高校を選択する際、様々な高校、寮を巡りました。中でも只見高校の寮は生徒が生活しやすい環境が整っており、寮スタッフは生徒一人ひとりをよく見て、情熱を持った手厚い対応をしてくれていました。また、町の人も温かく、3年間安心して息子を預けることができました。寮長としてこの寮の良さを伸ばし、今後の情勢が落ち着いたなら、各地の中学校を回って只見の魅力を多くの人に伝えていきたいです」



副寮長

酒井 正則さん

明るい寮生活を通して生徒の自主性を伸ばし、只見が第二のふるさとになってほしい

生徒の自主性を重んじながら優しく、時に厳しく親のように関わってくださる酒井さん。
「手書きメモなどで寮生やスタッフとコミュニケーションをとり、なるべく小さな変化に気づけるようにしています。成人式や、長期休暇を利用して卒業生が顔を見せてくれたときはとても嬉しいです」



食堂の様子

生徒の食の安全を第一に、栄養に気を配りながらおいしいと感じてもらえる食事作り

食中毒を起こさないよう、調理の過程や食品の品質管理を徹底し、細心の注意を払いながら調理に向き合う食堂スタッフ。そんな寮での食事を生徒たちはいつも楽しみにしています。
「加熱する温度や時間、栄養バランスなどの制約のある中、皆においしいと喜んで食べてもらえる食事を作れるように、栄養士さんと相談しながら工夫を凝らしています」(厨房主任・越川由紀さん)

留学生の 新たな取り組み

地域の方にきっかけを頂き、自主的に地域行事へ参加しました。



釣り体験 (いわなの里)



ピザ作り体験 (奥会津ただみの森キャンプ場)



掘り出し (只見水路)



寮の掃除

生徒の提案で、釣り体験、ピザ作り体験が行われました。

生徒達自身が考えて、掃除などを行っています。

地域住民の買い物を支援

「ただみ ほほえみ便」 出発式

移動販売車「ただみ ほほえみ便」の出発式が11日、明和振興センターで行われ、渡部町長や社会福祉協議会の佐藤会長ら関係者が参加したほか、地域住民の方も駆けつけました。

移動販売車を運用するうおかくの角田玲さんは「買い物弱者となっている方々の支援をはじめ、地域へ笑顔届けたいです」とあいさつをされました。

「ただみ ほほえみ便」は移動販売をしながら、高齢者世帯等の見守り支援も兼ねています。また、運行スケジュールについては、明和振興センターに配置されている他、社会福祉協議会ホームページに掲載されています。



▲集まった方々も笑顔で買い物をされました。

お米作りを学ぶ

町内小学校で「田植え体験」



▲只見小学校5、6年生（5月14日）

町内3小学校で農家の方の水田を借りて「田植え体験」が行われました。（只見小：新国真也さん、明和小：松井栄吉さん、朝日小：藁谷友活さん）

児童達は、農家の皆さんから手植えの仕方を教わり一生懸命に植えました。「少しひんやりとしていて気持ちよかった。意外と楽しかった」、「一つの田んぼから取れるお米の量に驚いた」と楽しそうに話しました。

農家の方は「一生懸命植えた苗が育っていく様子を見守ってあげてください」と伝えました。

秋には、稲刈り体験を行う予定です。



▲朝日小学校5年生（5月28日）



▲明和小学校5年生（5月20日）

JR只見線復旧・復興のために ご寄附いただきました

只見町下福井出身で「お菓子の城 那須ハートランド」を運営している片桐俊輔さんより只見町へ金100万円のご寄附をいただきました。

片桐さんは「故郷、只見町がJR只見線全線開通により益々発展されることを願っています」とお話しされました。

いただいたご寄附は有効に活用させていただきます。本当にありがとうございました。

○片桐俊輔さん（株式会社いづみや 代表取締役）

只見町出身／栃木県那須町在住。

平成元年に「お菓子の城 那須ハートランド」をオープンし、現在はいちご農園や温泉施設なども経営。



▲片桐さん(左)と寄附を受け取る渡部町長(右)

グルテンフリー、米消費拡大で注目

給食に米粉の Pasta、ナンを提供



▲米粉給食を楽しむ児童達

町内小中学校の給食に米粉の Pasta とナンが提供されました。新国農園産のコシヒカリを自家で製粉し Pasta は自社加工、ナンは三石屋でパン生地 に米粉を練り込んでもらったものです。

近年、米粉は水田の有効活用や食糧自給率の向上の他、小麦アレルギーの方でも安心して食べることのできる食材としても注目されています。

児童からは「普通のナンよりもおいしい」「Pasta がモチモチしている」といった声があがり、いつもと違う給食を楽しんでいるようでした。

河井継之助グッズで来町者をお出迎え

ステッカー、のぼり旗、ハッピを作成

只見町が河井継之助とゆかりの深い町ということ を PR するために町で河井継之助のステッカー、のぼり旗、ハッピを作成しました。

のぼり旗は町内国道沿いなどに設置し、訪問された皆様を出迎えます。ステッカーは河井継之助記念館や町内の商店を訪れた人にプレゼントされています。

ステッカーを受け取った方は「ファンにとって嬉しい取組みです。これをキッカケに河井継之助の名前がもっと広がると嬉しいです」と感想を話されました。

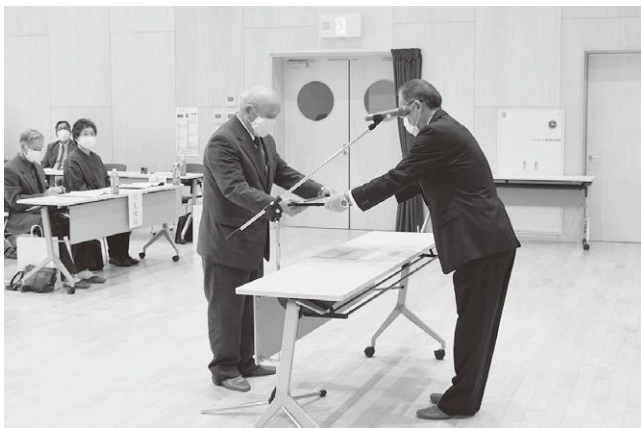


▲ハッピを着て訪問された皆様をお出迎えます。
(只見町観光まちづくり協会スタッフ)

滞納ゼロに向けて
只見町納税貯蓄組合連合会総会

令和3年度只見町納税貯蓄組合連合会総会が4月19日、只見振興センターで開催され、各地区の組合長が出席しました。

総会の中で行われた町納税貯蓄連合会長表彰では、五十嵐潤之助さん（塩沢第一納税貯蓄組合長）と渡部和彌さん（小川上村納税貯蓄組合長）が10年間、渡部昭さん（小川下村納税貯蓄組合長）が20年間に渡り納税活動に尽力されたことを称え、栗木会長から表彰状などが手渡されました。



▲栗木会長から表彰を受ける渡部さん

新型コロナ収束にむけて
高齢者
コロナウイルスワクチン接種開始

町内在住の65歳以上を対象とした新型コロナウイルスワクチンの1回目の接種が5月8日から始まりました。

接種は集落ごとに接種日時を決め、保健福祉センターを会場に行われました。

接種を受けた方は「ようやく受けられるようになって良かったです。早くコロナが落ち着くことを願っています」と話していました。



▲森医師による接種前の問診

国道289号開通後に向けて
「越後・南会津街道観光・地域づくり懇談会」開催

新潟県三条市、南会津町、只見町の3市町と民間事業者などで構成する「越後・南会津街道観光・地域づくり懇談会」が、5月11日、テレビ会議で開かれました。

開通後の只見町の姿について渡部町長は「只見町に住んでいるという幸せを実感できる町、来てよかったと感じられるまちづくりをしたい」と話されました。



▲只見町の出席者の様子

八十里越改築事業への相互理解を図る
八十里越改築事業勉強会

国土交通省の国道289号が今後5年ほどで開通を目指すとの方針を受けて、町議会議員と庁議構成員を対象とした国道289号八十里越改築事業に係る勉強会を5月21日に開催しました。

勉強会では、南会津建設事務所長から改築事業についての進捗状況などが説明された後、質疑応答や意見交換が行われ、事業への相互理解が深められました。



▲事業説明を行う大竹所長

広報ただみ診療所

「予防接種に、ありがとう」

朝日診療所
医師 もり 森 ぶゆ と 冬人



6月中旬、高齢者向けの新型コロナ予防接種が終わった頃でしょう。5月の報道を見る限り、他の多くの自治体では、住民が予防接種を予約するのも大変で、接種に時間もかかるようでした。

只見町の予防接種計画が完璧とまでは言えません。小さな問題はあったかもしれませんが、ただ、全国で感染が広まる中、町民を守るためには、問題をゼロにした完璧な計画でゆっくりやってはダメだったでしょう。小さな問題がたとえあっても、現場のみんなですこずつ修正しながら早めに接種を進めた今回の予防接種は、多くの町民を救うために適切だったと私は思っています。

私たち医師・看護師が診察するだけでは、残念ながら新型コロナの患者さんを減らす事も、救命率を上げる事も困難です。

医師・看護師・保健師そして事務職も少ない中、他の自治体以上の早さで接種計画を作成し実行してくれた保健福祉課職員を中心としたみなさん、本当にありがとうございます。手伝ってくれた町

外の医師のみなさん、一番大変な実際の接種を担当した看護師のみなさん、ありがとうございます。数日の痛み・熱などを我慢して接種を受けてくれた町民のみなさん、ありがとうございます。

毎日マスクと手洗いを実践するみなさん、遠方の家族と会うのを我慢して電話やオンラインにしてくれたみなさん、学校や職場で感染予防に努めるみなさん。みなさんのおかげで町民が助かりました。本当にありがとうございます。

世界的・全国的には厳しい状況ですが、まずは町内の予防接種が進んで、感染予防をしながら町内での平穏な暮らし・仕事・小規模な集会が少しずつでき、普通の世の中に戻ることを願います。医療福祉関係者だけでなく、地元の商店、水道・道路・電気・配送などインフラを維持してくれているみなさんのおかげで、今日も普通の生活が営める事に改めて感謝したいです。すべての町民へ、本当にありがとうございます。

地域おこし協力隊として Vol.78

只見町
教育振興協力隊

「私が描く協力隊—ハウスマスターとして」

やまごし かれん
山越 香恋



地域おこし協力隊に着任し奥会津学習センターのハウスマスターを始めてから、早2ヶ月が経ちました。

今回は私が協力隊として取り組みたいことをお話します。それは「人々の思いを可視化し、コミュニケーションのきっかけをつくること」ということです。これは相手が話していることを言葉や記号、表情を組み合わせで描き、発信される複雑な思いを整理することで、お互いの理解を深めるというものです。

例えば「寮のハウスマスター」という仕事について、私の思いを可視化すると右図のようになります。言葉だけではイメージすることが難しいものが伝わりやすくなると思います。

これを自己表現方法の一つとして発信し、只見高校生にとって只見町が「好き」や「得意」を共有、発揮できる場所に、充実した学校生活を送れるようにサポートしていきたいです。

ぜひ、只見高校の生徒だけでなく、只見町の皆さんとも思いを描きながら対話したいと思います。そして、協力隊の任期中に只見町の皆さんのことや皆さんが考える町への思いを、描けるようになりたいです。





町民文芸

只見短歌会

令和三年五月詠草

調こどわぬ声にて鳴き初むうぐひすの朝毎聞けば春おとづれぬ
馬場 八智

懸命にペタルを漕ぎて下校する生徒守るがに車距離おく
目黒 富子

友逝きて言葉なけれど世話受けつ共に語りし思い出ふかし
関谷登美子

駄目と聞き二年近くも頑張りし弟なれど納骨すます
渡部ゆき子

オドリコソウの花の蜜吸ひ幼孫枝捨てゆけばコップに活ける
新国由紀子

春寒し元同僚の思はざる計報の葉書幾度も読む
渡部ヨリ子

リハビリを終へて戻れば「おやつです」介護士さんが紅茶持ちくるる
新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会

五月定例会

災いは過ぎ去るものと春耕す
弘子

分けてくれし友惚びつつ菊根分
真理子

季は来て夫の菜の花目映ゆかし
主の居ぬ庭に四ツ葉のクローバー
睦子

花ざかりかわす言葉もほがらかに
うぐいすの声聞きながら散歩道
一穂

駒返る草や遊具の整いし
豆を蒔く頃あいはあの藤の花
礼

初めての使い筥届けらる
親子して自転車水見田植後
一穂

宇多喜代子 指導

褐色の土手のキャンバス露の臺
青空も一緒に揚げる露の臺
修一

系ほどのさざ波起こし蝌蚪の群れ
留山にあらねど罰かタラの刺
幸生

寂しきは機械で田植え黄昏どき
コロナ禍や手酌の友に雨蛙
信

こいのぼり泣く子の口に飴が有り
春嵐エプロン裾に子を入れて
都



今月のお知らせ

お知らせ

多重債務・貸金業に関する相談窓口のご案内（無料）

財務省福島財務事務所では、借金でお悩みの方からの相談を受け付けています。秘密厳守、相談無料ですので、お気軽にご相談ください。

また、国や県の登録を受けずに貸金業を営む、いわゆる「ヤミ金融」業者には十分にご注意ください。ご利用されている貸金業者の登録状況に関する問い合わせや不正に利用されている預貯金口座に関する相談も受け付けています。

相談窓口

財務省福島財務事務所 理財課

☎024-533-0064

受付時間

平日（祝日、年末年始を除く）

電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
地域創生課	
創生企画係 広報広聴係	
ユネスコエコパーク推進係	☎82-5220
町民生活課	
税務係	☎82-5110
町民係	☎82-5100
保健福祉課	
保健係	☎84-7005
福祉係	☎84-7010
農林建設課	
農林係	☎82-5230
建設係	☎82-5270
観光商工課	
観光係 商工係	☎82-5240
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

8時30分～12時00分、
13時00分～16時30分

県政世論調査の実施について

県民の皆様のご意見を今後の件の事業に役立てるための調査を実施します。調査用紙が届いた方は期日までにご回答くださいますようお願いいたします。県政のための大切な調査です。ご協力をお願いいたします。

調査対象

県内に住む15歳以上の県民
2000人（無作為抽出）

調査期間

令和3年6月29日（火）
～7月12日（月）

調査内容

復興等に関する情報発信、安
全安心な県づくり、県総合計画、
福島イノベーションコースト構想、
チャレンジ福島県民運動、食育、
農林水産業など37項目について

ふくしま合同就職面接会の開催について

令和4年3月に大学等を卒業予定の方、平成31年3月以降に大学等を卒業して、現在就職活動をしている方を対象に、正社員で雇用する計画のある県内企業との面接会を開催します。ぜひご参加ください。

開催日時

令和3年8月12日（木）
12時から17時

会場

郡山市豊田町3番10号
宝来屋 郡山総合体育館

お問合せ先

福島労働局職業安定課
☎024-529-5396

その他

参加申込方法は6月中旬に福島労働局ホームページ上に掲載します。

「これまでの大丈夫が、いま危ない。」

～水害をテーマにした動画～

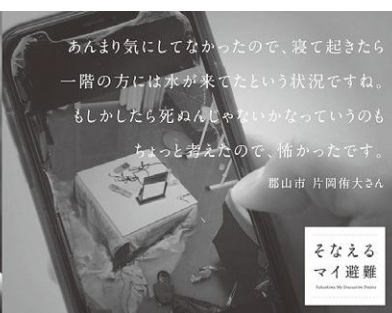
近年、激甚化する災害に備えるため、令和元年東日本台風で被災した方の体験を基に、福島県では啓発動画を作成しました。是非一度ご覧ください。

そなえるマイ避難

検索

☎ 県庁危機管理課

☎024(521)8651



税 今月の納期

6月25日までに

納めましょう

- 町県民税（1期）
- 水道使用料（1期）
- 農集排使用料（6月分）

6月～7月は「薬物乱用防止広報強化期間」です

6月～7月は薬物乱用防止広報強化期間です。

警察庁を始めとする関係省庁では、広く国民に対して、覚醒剤や大麻等の薬物乱用の現状、薬物の危険性・有害性等に関する広報・啓発を行い、国民全体の規範意識を向上させ、薬物乱用の未然防止に努

めています。

依存性や習慣性があり、中枢神経系の興奮若しくは抑制又は幻覚の作用を有する物として、覚せい剤・大麻・MDMA・コカイン・ヘロイン・向精神薬等があり、これらの取扱いは法令により禁止又は制限されています。

6月は「食育月間」です

生涯にわたって健全な心身を培うためには、栄養バランスに配慮した食生活を実践することが重要です。

また、持続可能な社会・環境の実現のために、産地を応援するための産地消や食べ残しを無くすなど環境に優しい食生活についても、この機会に皆さんで取り組んでみませんか。

農林水産省は関係者と連携して、「食育推進全国大会」を岩手県で6月26日(土)と27日(日)の2日間開催します。インターネット配信も予定していますのでぜひご覧ください。詳細については、決定次第農林水産省ホームページにてお知らせします。(検索:「食育推進全国大会」)

町長スケジュール (5月分)

- 6日 臨時庁議(新型コロナウイルス対策本部会議 以下「対策本部会議」、南会津建設事務所長来庁、ふくしま自治研修センター所長来庁)
- 7日 只見町議会5月会議、議会全員協議会、臨時庁議(対策本部会議)
- 8日 臨時庁議(対策本部会議)
- 9日 臨時庁議(対策本部会議)
- 10日 南会津地方町村会総会、会津高原ふるさと推進協議会理事会、南会津地方土地開発公社理事会、南会津地方林業協会通常総会、南会津

地方広域市町村圏組合管理者会、南会津地方環境衛生組合管理者会(南会津町)

- 11日 買い物支援移動販売車出発式、越後・南会津街道観光・地域づくり懇談会
- 14日 臨時庁議(対策本部会議)、(株)季の郷湯ら里取締役会
- 21日 只見町議会全員協議会、臨時庁議(対策本部会議)
- 24日 臨時庁議(対策本部会議)
- 25日 (株)会津ただみ振興公社定時株主総会
- 27日 6月補正予算町長査定、只見川電源流域振興協議会決算監査
- 31日 会津鉄道社長来庁、朝日診療所医師との懇談会

町民の消息

(4月26日～5月25日届出分)敬称略

■お誕生おめでとうございます

横山 弓弦(男/祐・明日香) 只見
小林 千晃(男/拓矢・景子) 小林

■ご結婚おめでとうございます

福井 佐藤 幹♡山口 裕理 福井

■おくやみ申し上げます

長谷部 ヨシノ	101歳	只見
小沼 クニ子	94歳	黒谷
柳林 富子	90歳	黒谷
矢沢 太一郎	94歳	塩沢
山内 政一	70歳	梁取

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和3年5月1日現在

人	口	4,009 (+9)
男		1,967 (+10)
女		2,042 (-1)
世帯数		1,725 (+22)
高齢化率		46.7%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 28 転出 13 出生 1 死亡 7

▽福島県において「新型コロナウイルス感染症非常事態宣言」が15日に発令されました。それに伴って町内行事の多くが残念ながら中止や延期となりました。早く新型コロナウイルスが収束し、気兼ねなく談笑できる日々が戻ってくることを願っています。

▽小学生の田植え体験の取材では私も勉強になることが多く、改めて農家の皆様の苦労やお米の大切さを感じました。

(小林)

あとがき

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

町民憲章

朝日振興センター 図書紹介

朝日振興センター図書室
☎84-2111
三瓶 美由紀

おすすめ新着図書

★白鳥とコウモリ



東野圭吾

東野圭吾/著(幻冬舎)

幸せな日々は、もう手放さなければならない。

遺体で発見された善良な弁護士。

一人の男が殺害を自供し事件は解決——のはずだった。「すべて、私がやりました。すべての事件の犯人は私です」2017年東京、1984年愛知を繋ぐ、ある男の“告白”、その絶望——そして希望。

「罪と罰の問題はとても難しく、簡単に答えを出せるものじゃない」

私たちは未知なる迷宮に引き込まれる——。

作家生活35周年記念作品

『白夜行』『手紙』……新たなる最高傑作。東野圭吾版『罪と罰』。

★あきらがあげてあげるから



ヨシタケシンスケ/著
(PHP研究所)

くやしい。ボクはくやしい。ボクはチョコがたべたいんだけど、このふくろ、あげにくいんだよ。

ボクはまだちっちゃくてちからもよわいから、このふくろはあげられないんだ…。

でも、もうすこしおおきくなったら、ボクはきっとなんでもあげられるようになるとおもうんだ。じぶんのぶんもみんなのぶんも、ぜーんぶあげたい。

あきらがあげてあげるから！

どんなものでもあげられるって、なんだか楽しい！

夢が広がるヨシタケシンスケのユーモア絵本。

○朝日振興センターではリクエストを随時受付しています。読んでみたい本があれば、ぜひリクエストしてください。

シマヘビ

(学名: *Elaphe quadrivirgata*)

(写真・文 吉岡義雄)



▲ 水田や池沼とその周辺に現れる事が多く、しばしば泳ぐ姿が見られる



▲ 日光浴をして体温を上げてから採餌を行う。そのため、日当たりのいい道路上によく姿を見せる

シマヘビは沖縄と南西諸島を除く日本全土で見られる無毒のヘビです。様々な環境で見られますが、特に水田や池沼とその周辺で見られる事が多く、その近くに日当たりのいい道路や開けた草地があると、よく日光浴をする姿を見ることができます。その名の通り、背中に4本の縦縞があることが特徴ですが、色彩変異が多く、縦縞の薄いものや、カラスヘビとよばれる全身が真っ黒のものも確認されています。全長は大きなもので2mに達します。

食性は幅広く、両生類、爬虫類、鳥類、小型哺乳類を捕食します。ただし、獲物を絞め殺すのが上手ではなく、皮膚もあまり伸びない事から、これらに長けるアオダイショウと比較すると小柄な獲物や細長い獲物しか襲えません。

そんなシマヘビが特に好んで捕食するのはカエルです。シマヘビの餌動物中の約86%をカエル類が占めていたとの報告もあります。本種が水辺やその周辺に多いのは、餌であるカエルが多い為です。

只見町では、人家の周辺にも両生類の繁殖池や水田があるためか、シマヘビは身近で見られる機会が多いヘビです。気性が荒いといわれ、恐れられる事もありますが、実際には臆病で神経質なヘビです。人の気配を感じると一目散に逃げていきます。強く掴んだり、逃げ場がなくなるほど追い詰めたりしなければ、咬まれることはありません。過度に恐れず、避けて歩くか、遠くから観察してみるとよいでしょう。

只見町ブナセンターからのお知らせ

只見町ブナセンター附属施設「ただみ・ブナと川のミュージアム」では下記企画展を開催中です。皆様のお越しをお待ちしております。

企画展アーカイブ「ヒメサユリのすべて」

会 期：2021年6月5日(土)～2021年7月26日(月)

場 所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー